

ST 未来創造 I

自己理解への挑戦3 才能編

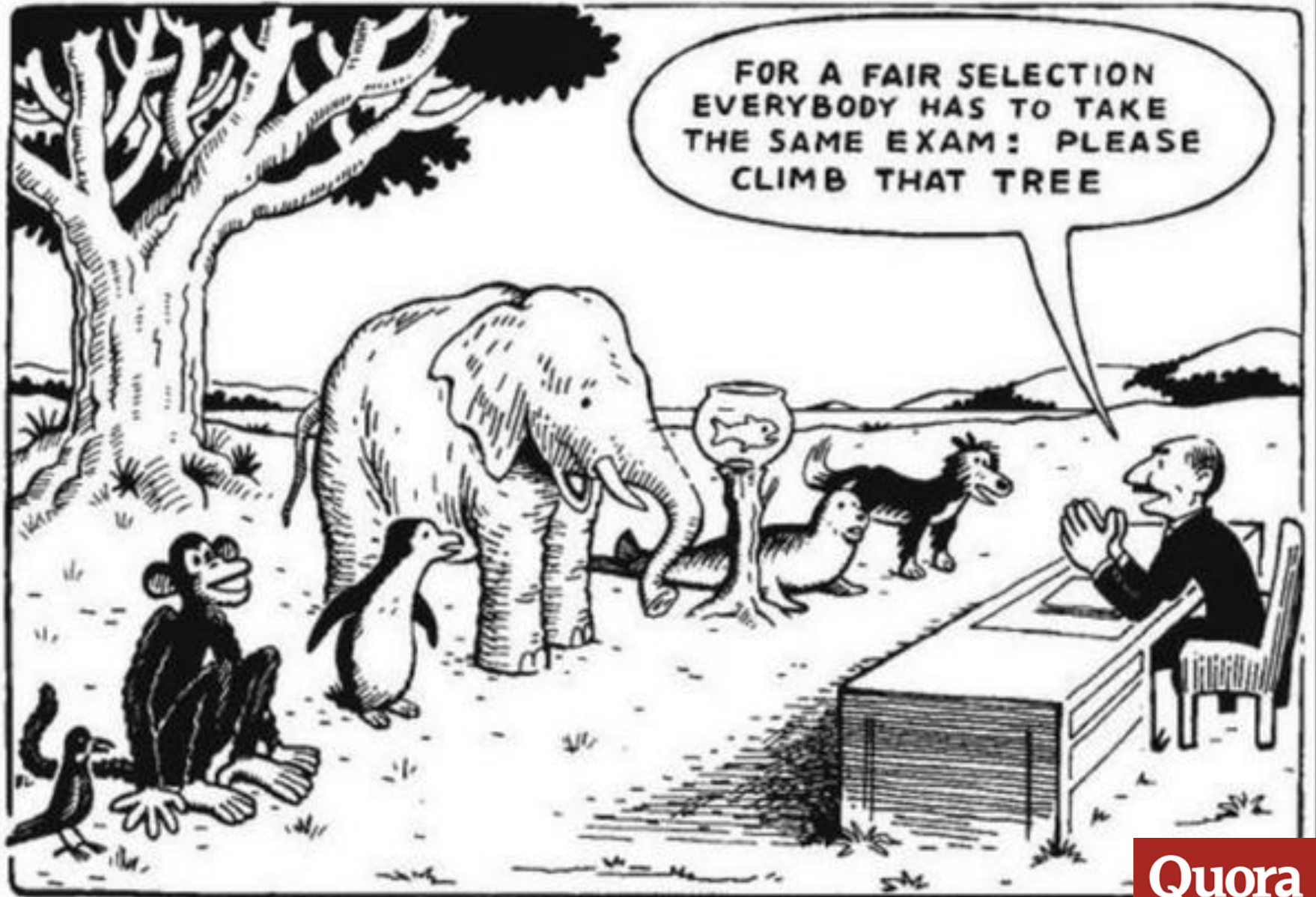
13



「才能」

= 得意、できること
を見つけよう

FOR A FAIR SELECTION
EVERYBODY HAS TO TAKE
THE SAME EXAM: PLEASE
CLIMB THAT TREE

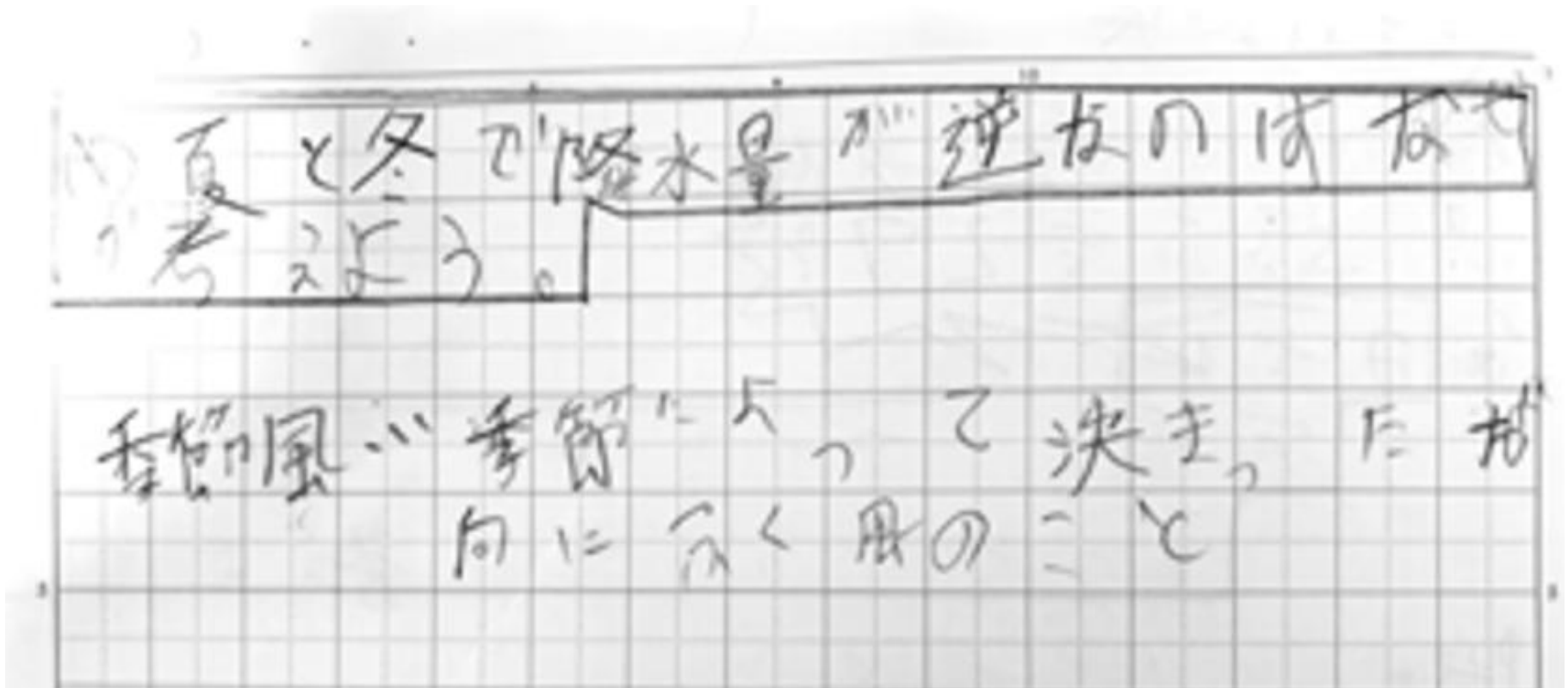


- ・ 海外の国から日本の公教育を見た風刺画です。
- ・ この風刺画は、次のアインシュタインのQuote(引用)に通じるところがあります。

“Everyone is a genius. But if you judge a fish by its ability to climb a tree, it will live its whole life believing that it is stupid.”

「みんな本当は天才なんだ。でももし魚が自分の能力を木登りで判断されたなら、その魚は一生自分のことをバカだと思い続けるだろう。」

ディスレクシアの診断された小学校 5 年生の ノート



PC使用した半年後の同じ生徒のノート

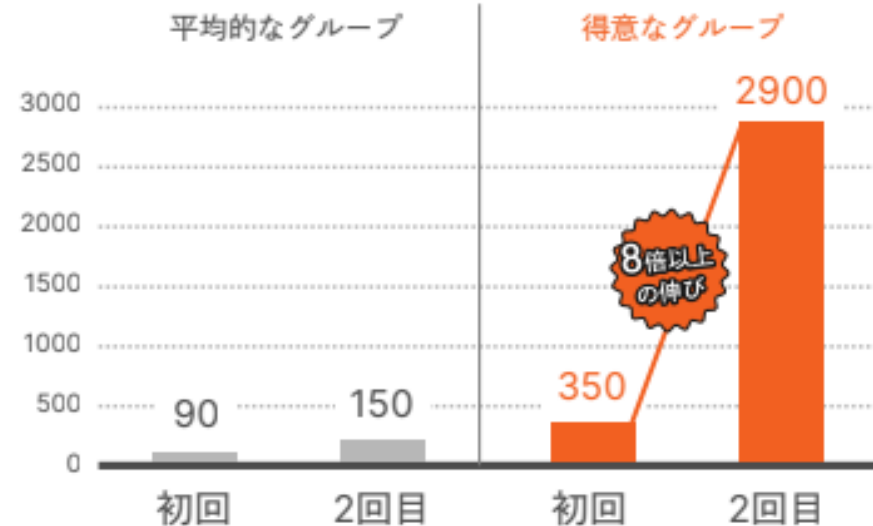


研究で判明していること

才能がないことを努力しても、大きな結果は出ない

才能があることを努力すれば、大きな結果が出る

- アメリカのネブラスカ大学において16歳の学生を対象にした研究
- 学生を「読むことが得意なグループ」と「読むことが平均的なグループ」に分け、3年間同じ訓練した結果



「やりたいことの見つけ方」八木 仁平

「才能」を見つけれない人

ここで定義する「才能」とは他人よりうまくできる能力ではない。生まれつき一部の人だけが持っていると思い込むと、「才能」は見つけづらい

例；×スポーツが得意、×ダンスが得意

「才能」を見つけれ人

「才能」は「ついやってしまう」「自然とできてしまう」ことで、自分で「見つけよう」という意志がある人が見つけることができる。

例；○人間観察、○他人の気持ちを考える

自己分析につながらない「才能」

ここで定義する「才能」とは生まれつき持っているもの。後天的に見につけるスキルとは異なる。

例；×英語が話せる、×ピアノが弾ける

自分を見つける「才能」の捉え方

「才能」は「生まれつき自然とできちゃうもの」
「自然に無理なく〇〇できる」「つい〇〇やってしまう」などの「動詞」で捉えると探しやすい

例；〇責任感がある、〇集中できる

問い

「得意なもの」アプローチ 1 欠点から探る

自分の欠点と思うことをできるだけ多くあげて、それを裏返すことから「才能 得意なもの」をあぶりだそう

欠点	才能
失敗を恐れて行動できない	先のことを予想して考える
周囲に対して自分を表せない	他人の気持ちを配慮する
決められた通りにやるのが苦手	主体性や創造性を発揮できる

「得意なもの」 欠点から迫るワークシート

欠点	才能
例；失敗を恐れて行動できない	先のことを予想して考える

「本当の自分の姿」が明らかになる

⇒ ありのままの自分を受け入れる

⇒ 「憧れ」から「なれる自分」に目が行く

憧れ	自己理解
なりたい自分	なれる自分
うまくいきづらい →自己否定	うまくいきやすい →自己肯定

「やりたいことの見つけ方」八木 仁平

問い

「得意なもの」アプローチ2 タイプから探る

次の「才能4タイプ」のうち、自分はどれに一番近い？
例；二つ迷った場合は⇒主；人間関係(副；突破)

突破	表現	思考	人間関係
アイデア思いつく 自分の意見言う 合理的に考える 挑戦する 新しいこと始める 未来を描く 達成する	人前で話す 率直に意見を言う 新しい人と仲良く 伝える 挑戦する 人を巻き込む	考える 勉強する 分析する リスクを考える 着実に進める	チームで進める 人をまとめる 話を聞く 困っている人を 助ける 人の気持ちに気づく

参考；一部改「やりたいことの見つけ方」八木 仁平

問い

「得意なもの」アプローチ 3 質問から探る

別紙の【得意なことを見つける質問紙】から、できるだけ多く、また具体的に質問に答えてください。

自分を知るためにはなるべく多くの質問に答える方が良いでしょうが、どうしても答えづらい質問はパスしてもいいです。

一つ一つの質問に、「なぜこのような質問をしているか」その狙いも書いてありますので、「どのような理由でそのような行動になったのか？」または、「その行動を引き起こしたのは、どのような理由が自分の中にあったのか？」を分析してみてください。